



口上覚案文集（大嶺コレクション 沖縄県立博物館・美術館所蔵）

古文書からみる 近世琉球

2021. ~~6.19~~ →

8.7 土

入場無料

14:00~16:00
(開場 13:30)

講師 麻生 伸一 (沖縄県立芸術大学)

会場 沖縄県立博物館・美術館
3F 講堂 (100 席)

受付 事前申込 (7/7(水)より受付)
お電話または総合案内にて承ります。

お問合せ 098-941-8200
〒900-0006
沖縄県那覇市おもろまち 3-1-1

古文書と聞くと、いわゆる「くずし字」で書かれているため、よく分からないものというイメージが強いかと思います。しかし、歴史を考えるときに、古文書は多くの考える材料を提供してくれます。書かれている文字から得られる情報も重要ですが、文字だけでなく、古文書に使われる書体や様式からも、その古文書にまつわる人間関係や社会観念をうかがい知ることができます。

本講座では、古文書に書かれた文字や書体、様式などから近世琉球の社会と外交を考えていきたいと思ひます。

※ 新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては中止または一部変更の可能性あります。



【講師】 麻生 伸一 (沖縄県立芸術大学)

1981年熊本市生まれ。大学から沖縄で琉球史を学ぶ。これまで複数の「琉球史料学」に関する研究プロジェクトに参加する。2019年、2020年におきなわ県民カレッジ（沖縄県教育委員会）の古文書講座を担当。

共編著に『冊封琉球全 - 一七一九年の御取り持ち -』（雄山閣、2020年、茂木仁史と共編）、『琉球国王尚家文書「火花方日記」の研究』（榕樹書林、2020年、茂木仁史と共編）がある。

＼ 新型コロナウイルス感染拡大防止にご協力を！ /

- ・当日発熱や体調がすぐれない場合は参加をご遠慮ください。
 - ・マスクの着用、手指の消毒、健康状態の聞き取りにご協力ください。
 - ・ご自宅にて検温をお願いいたします。
 - ・新型コロナウイルス接触アプリ（COCOA/RICCA）をご活用ください。
- いつもご協力いただき、ありがとうございます。



あなたの沖縄に出会う
沖縄県立博物館・美術館
Okinawa Prefectural Museum and Art Museum

【開館時間】9:00-18:00（金・土は20:00まで）
【休館日】月曜日（月曜祝日の場合は翌平日休館）